

渡島西部広域事務組合

【松前町・福島町・知内町・木古内町】

海峡



使命感を持って!!

～ 海峡53号の主な内容 ～



議会定例会	P 2	消防署の活動状況	P 6
職員数・建設事業	P 3	職員などの異動	P 7
予算の概要	P 4～5	表彰関係	P 8
衛生センターからのお知らせ	P 6	新採用職員の紹介	P 8

渡島西部広域事務組合議会 第1回定例会

令和2年2月21日(金)、第1回定例会を開催し、管理者の行政報告の後、議案4件が可決されました。

行政報告

1 消防関係について

(1) 火災の発生状況について

2月15日に、福島町三岳地区の一般住宅で、タバコの火の不始末により布団を焼く小火が発生しましたが、人的被害や建物への被害はありませんでした。



行政報告をする鳴海管理者

(2) 救急車の自損事故について

松前消防署の救急車が、令和元年12月31日救急出動し、町立松前病院から函館市内の医療機関へ患者さんを搬送中、北斗市の渡島当別駅付近においてスリップし、自損事故を起しております。同乗していた患者さん及びそのご家族に怪我はありませんでしたが、看護師さんが打撲する怪我を負っております。患者さん及び負傷した看護師さんに、深くお詫びを申し上げます。消防本部を通じて各署員に対して、救急車の安全運転に努めるとともに、冬季間における搬送の安全確保を図るよう、周知徹底したところであります。

(3) 令和2年度消防職員の採用について

令和元年11月15日に、令和2年度採用に係る2次試験を実施し、合格者5名の内定を決定しております。1名は当組合における初の女性採用者であり、女性が活躍できる職場環境の充実に努めてまいります。



受賞した城地消防士(左)

(4) 令和元年度渡島・檜山消防職員意見発表大会について

2月6日に「渡島・檜山消防職員意見発表大会」が開催され、当大会において知内消防署の城地和宏消防士が見事に最優秀賞を受賞しております。4月に開催される全道大会に渡島・檜山消防本部代表として出場する予定となっております。

審議された議案内容

議案第1号 渡島公平委員会を組織する地方公共団体の数の減少及び渡島公平委員会規約の変更について

構成している団体のうち、山越郡衛生処理組合が脱退することとなり規約変更をしました。

議案第2号 令和元年度一般会計補正予算（第4号）

予算から、3,977万6千円を減額し、総額を15億2,453万8千円としました。

主な補正の内容は、入札による減額や実績精査によるものです。



質問する伊藤議員

議案第3号 積立金の処分について

衛生センター施設整備基金から令和2年度に実施するリサイクルプラザ内の「ペットボトル容器圧縮成型設備改修工事」の財源とするため、積立金を処分することにしました。

議案第4号 令和2年度一般会計予算について

令和2年度の予算総額を15億3,602万2千円としました。

前年度と比べて、2,314万2千円の減額となりました。

歳出では、79.2%が人件費と物件費、8.3%が建設事業費、その他公債費等が12.5%となっております。歳入では、構成町負担金が90.6%、し尿処理手数料等が7.3%、交付金等が2.1%となりました。

令和2年4月1日の職員数について

職員数は114人で、前年度と比べ2人の増となりました。

(単位：人)

区 分	事務局	衛生 センター	消 防					合 計
			本 部	松 前	福 島	知 内	木古内	
2年度	3	4	3	34	24	23	23	114
元年度	4	4	3	33	24	22	22	112

令和2年度の建設事業等について

100万円以上の建設事業等は14件で、事業予算は1億7,518万9千円となりました。前年度に比べ、件数は同じですが、事業予算では、887万2千円の増となりました。

担当部署	内 容	予算額 (千円)
衛生センター	汚泥再生処理設備機械オーバーホール	18,681
	ごみ処理機械設備オーバーホール	29,300
	ペットボトル容器圧縮成型設備改修工事	28,407
松前消防署	水難救助潜水土装備品	2,605
	防火水槽補修工事 (1基)	1,149
	庁舎車庫シャッター改修工事	12,024
	小型動力ポンプ (1台)	2,206
	消火栓更新工事 (7基)	5,818
福島消防署	吉野分団器具置場改築工事	8,000
知内消防署	救急用資機材更新 (心電図モニター等)	4,263
	消防司令車更新 (1台)	7,729
	消火栓更新 (1基)	1,320
木古内消防署	消防用高圧空気容器 (ボンベ5本)・ホース (30本)	2,387
	小型動力ポンプ付大型水槽車更新 (1台)	51,300
計	14件	175,189



令和2年度で実施する 消防関係事業



令和2年度予算の概要について

■歳入予算の状況

今年度の歳入は、衛生センターや、各消防署の施設整備の影響により、構成町からの消防負担金1,590万3千円の増額となりましたが、手数料では、し尿処理収集量等の減少により442万2千円が減少し、前年度より、2,314万2千円減額となりました。

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	主 な 内 容
分担金及び負担金	1,390,720	構成町負担金
衛生負担金	368,274	
消防負担金	1,022,446	
使用料及び手数料	111,777	
し尿処理手数料	96,947	収集量17,600kl
浄化槽汚泥処理手数料	9,065	処理量1,850kl
ごみ処理手数料	4,240	処理量800 t
消防手数料	1,525	知内発電所屋外タンク定期点検審査手数料
道支出金	1,910	消防施設整備費交付金 木古内消防署
財産収入	3,128	
利子及び配当金	28	
物品売払収入	3,100	アルミプレス等売却
繰入金	28,407	衛生センター施設整備基金繰入金 リサイクルプラザ設備改修工事財源
繰越金	1	前年度繰越金
諸収入	79	
組合預金利子	2	
雑入	77	
合 計	1,536,022	

■構成町負担金内訳は、次のとおりです。

(単位：千円)

構 成 町	衛生負担金	消防負担金	負 担 金 計	前年比増減
松 前 町	121,010	321,584	442,594	△ 7,283
福 島 町	116,707	214,212	330,919	△ 12,705
知 内 町	50,941	229,426	280,367	14,176
木 古 内 町	79,616	257,224	336,840	21,715
合 計	368,274	1,022,446	1,390,720	15,903

■歳出予算の状況

今年度の歳出は、衛生センターの設備改修工事や木古内消防署の大型水槽車等の実施はありますが、前年度に完了した消防関係の大型事業の減額により、前年度より2,314万2千円減額となりました。



質問する又地議員



質問する堺議員



質問する成澤議員

(単位：千円)

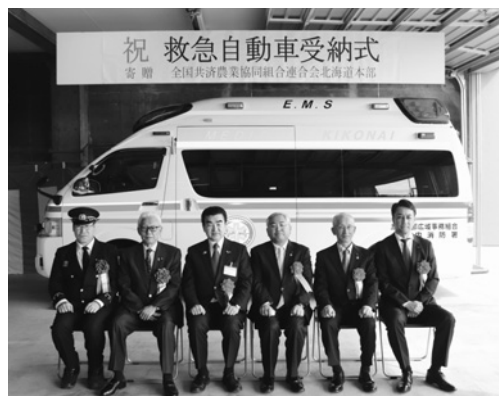
予 算 科 目	予 算 額	主 な 内 容
事務局	153,962	
議会費	840	定例会 3 回、臨時会 3 回
事務局費	33,960	職員 3 人、会計年度任用職員 1 人
監査委員費	712	
公債費 元金	101,249	平成22～29年度施設整備債等の元金返済
〃 利子	4,930	平成22～29年度施設整備債等の利子返済
前年度会計剰余還付金	1	
衛生センター施設整備基金積立金	10,270	浄化槽汚泥処理手数料、地方交付税等積立
予備費	2,000	
衛生センター	383,780	
し尿処理費	249,388	職員 3 人、会計年度任用職員 1 人、し尿収集業務等委託料
ごみ再生処理費	112,311	職員 1 人、リサイクルプラザ設備改修工事
最終処分場処理費	22,081	浸出水処理施設維持管理委託料
消防本部 消防本部費	37,830	職員 3 人、消防救急デジタル無線保守委託料
松前消防署	304,695	
松前消防署費	264,783	職員34人、活動用備品購入
松前消防団費	16,271	団員数127人
松前施設費	23,641	庁舎車庫シャッター改修
福島消防署	198,635	
福島消防署費	178,552	職員24人、活動用備品購入
福島消防団費	11,298	団員数73人
福島施設費	8,785	吉野分団器具置場改築
知内消防署	215,067	
知内消防署費	194,614	職員23人、活動用備品購入
知内消防団費	9,949	団員78人
知内施設費	10,504	消防司令車更新
木古内消防署	242,053	
木古内消防署費	180,696	職員23人、活動用備品購入
木古内消防団費	9,368	団員65人
木古内施設費	51,989	小型動力ポンプ付大型水槽車更新
合 計	1,536,022	

● 木古内消防署へ救急自動車が寄贈されました ●

全国共済農業協同組合連合会北海道本部から渡島西部広域事務組合木古内消防署に「高規格救急自動車」が寄贈され、3月19日に受納式を執り行いました。

新車両は、広い車内空間を備え、傷病者の振動等を軽減させるための防振架台や換気装置、冷暖房設備等、救急救命士が高度な救急救命処置を十分に行うことのできる設備を備えた救急自動車です。

今後もさらなる救命率の向上を目標に、町民の安心安全の確保に努めてまいります。



衛生センターからのお知らせ

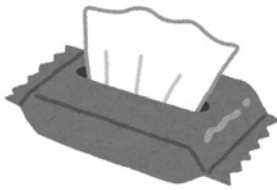
■ご協力をお願いします

便槽には便・トイレットペーパー以外のものは流さないでください！

便槽に異物が入ると便器・排水管詰まりの原因となり、汲み取りの際にホースが詰まるなど業務に支障を来しますので、絶対におやめ下さい。トイレットペーパー以外のものとは、ティッシュペーパー、新聞紙、紙おむつ、お尻拭き、ビニールなど「水に溶けないもの」全般です。

これまでも様々なものが便槽内に捨てられているのが発見され、汲み取り業務の妨げになっております。

特に「トイレ掃除用シート」については、下水道トイレではそのまま流すことができますが、浄化槽式・汲み取り式簡易水洗・汲み取り式トイレに流すと排水設備が詰まる可能性がありますので、トイレに流さず「燃えるごみ」として処理してください。



各消防署の活動状況

松前消防署



ドクターヘリとの救急合同訓練
(3/17)

知内消防署

雪解けが進み山菜採りや行楽等で山に入る方が増える時期を迎え、遭難場所を早期に特定するための通信訓練、崖下への落下や怪我をして動けなくなった傷病者を想定した引き揚げ訓練及び搬送訓練を実施しました。
(3/25～27)



福島消防署



福島消防団員を対象とした普通救命講習
(2/6、2/9)

木古内消防署



新しい救急資機材の取扱訓練
(3/31)

異動のお知らせ

消防団

● 退任

令和2年3月31日付

知内消防団

・ 団 長 笠 松 彰

松前消防団

・ 副団長 吉 田 康 洋

● 就 任

令和2年4月1日付

知内消防団

・ 団 長 松 崎 光 一

・ 副団長 城 地 秀 樹

令和元年12月20日付

松前消防団

・ 副団長 三 上 正 人

職 員

令和2年4月1日付

事務局

・ 館 政 ななみ

・ 総務係主任

消防本部

・ 船 板 克 志

・ 管理係長兼消防指導係長

松前消防署

・ 成 田 誠

・ 江良出張所長

・ 小 川 隆 広

・ 管理課長

・ 佐々木 友 彦

・ 管理課主幹

・ 竹 利 春

・ 警防課救急通信係長

・ 疋 田 光 輝

・ 警防課警防係長

・ 渡 辺 努

・ 管理課指導係長

・ 藤 村 規 行

・ 管理課管理係長

・ 野 村 洋 輔

・ 江良出張所係長

・ 小 林 泰 典

・ 警防課救急通信係主査

・ 大 谷 昇 史

・ 警防課警防係主査

・ 佐 藤 祐 太 朗

・ 警防課救急通信係主任

・ 新井田 裕 真

・ 江良出張所係主任

・ 渡 辺 純 一

・ 警防課救急通信係主任

・ 川 和 田 章 史

・ 警防課警防係

・ 宮 崎 瞭 太

・ 管理課管理係

・ 久保田 大 聖

・ 管理課指導係

福島消防署

・ 吉 能 秀 美

・ 署 長

・ 住 吉 竜 大

・ 管理課長

・ 鈴木 宏 英

・ 警防課主幹

・ 山 館 達 也

・ 管理課主幹

・ 木 村 祐 樹

・ 管理課指導係長

・ 阿 部 達 也

・ 警防課警防係長

・ 大 橋 浩

・ 管理課管理係主査

・ 菊 地 拓 也

・ 管理課指導係主任

・ 小 美 浪 航

・ 警防課警防係主任

・ 川 崎 久 徳

・ 管理課指導係

・ 富 山 省 吾

・ 管理課管理係

・ 知内消防署

・ 櫻 井 雅 之

・ 管理課指導係主査

・ 野 戸 教 靖

・ 警防課救急通信係主査

・ 城 地 和 宏

・ 管理課管理係主任

・ 庭 洸 介

・ 警防課警防係主任

・ 相 馬 大 佑

・ 警防課警防係主任

・ 高 村 祐 輝

・ 管理課指導係主任

・ 泉 貴 仁

・ 管理課管理係

・ 木古内消防署

・ 松 井 光 也

・ 警防課救急通信係主査

・ 小 室 彰 吾

・ 警防課警防係主査

・ 太 田 竜 刀

・ 管理課管理係主査

新採用職員

令和2年4月1日付

松前消防署

・ 齋 藤 優 介

・ 警防課警防係

福島消防署

・ 木 村 楓

・ 警防課警防係

知内消防署

・ 伏 見 祐 哉

・ 警防課警防係

木古内消防署

・ 佐 藤 周

・ 警防課警防係

・ 佐 藤 海 斗

・ 警防課警防係

再任用職員

令和2年4月1日付

福島消防署

・ 中 島 昌 彦

・ 警防課警防係主査

退 職

令和2年3月31日付

・ 中 島 昌 彦

・ (福島消防署長)

・ 三 上 大 地

・ (木古内消防署)

派 遣

令和2年3月31日付

福島町へ

・ 笹 森 涼

・ (事務局)

知内消防団

団 長 松 崎 光 一



近年、全国各地で台風等の自然災害により多くの住民が被害を受けております。

地域住民の安心・安全を守るため、消防職団員が一致団結し、地域防災力の向上に努めて参ります。

消防署からのお知らせ

■知内消防団活動用テントのご寄贈について

この度、前知内消防団長の笠松彰氏と元知内消防団副団長の佐藤昌彦氏より消防団活動に使用するためのテントをご寄贈いただきました。誠にありがとうございました。

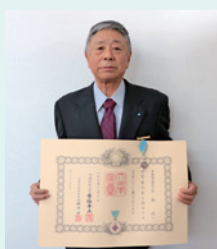


叙勲受章おめでとうございます

瑞宝双光章受章

受章者 元松前消防署長 佐藤 修 氏

1月23日、松前町役場にて伝達式が行われました。佐藤氏は37年に亘り、松前消防署に在籍し、消防業務にご尽力されました。その功績が称えられ、瑞宝双光章を授与されました。



瑞宝単光章受章

受章者 元木古内消防団分団長 池田 茂 氏

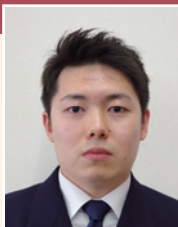
1月27日、自宅にて伝達式が行われました。池田氏は37年に亘り木古内消防団に在籍し、分団長としてご尽力されました。その功績が称えられ、瑞宝単光章を授与されました。



新採用職員の抱負

令和2年4月1日付で採用された職員を紹介します

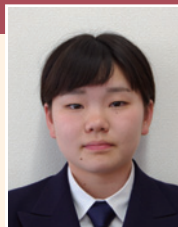
松前消防署



さいとう ゆうすけ
齋藤 優介 (21歳)
(北斗市出身)

将来は、人助けになる仕事に就きたい
思いが叶いました。町民の皆様の笑顔で
安心できる生活を守る為、諸先輩の指導
をしっかり受け精進して参ります。

福島消防署



きむら かいと
木村 楓 (18歳)
(福島町出身)

日々、勉強や訓練への努力を大切に
し、女性らしさを活かしながら、町民
の皆様の安心した暮らしに貢献できる
よう努めます。よろしくお願いします。

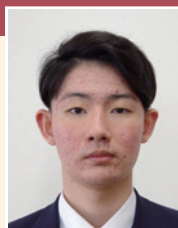
知内消防署



ふし みゆうや
伏見 祐哉 (18歳)
(北斗市出身)

町民の皆様が安心して暮らせるように、
日々の訓練での努力を忘れずに取り組み、
信頼される消防士になるため、精一杯努力
したいと思います。よろしくお願いします。

木古内消防署



さとう しゅう
佐藤 周 (19歳)
(函館市出身)

町民の方々の命や財産を守るために
日々努力し、信頼されるような立派な
消防職員を目指して頑張ります。よろ
しくお願いいたします。

木古内消防署



さとう かいと
佐藤 海斗 (21歳)
(函館市出身)

町民の皆さんが、安心・安全に暮ら
していけるように精進し、日々のトレ
ーニングを怠らず、立派な消防職員にな
りたいと強く思っています。

海峡 53 号

令和2年5月発行

発行人 渡島西部広域事務組合
(松前町・福島町・知内町・木古内町)

〒049-1331 北海道松前郡福島町字三岳45-1
TEL 0139-47-3511 FAX 0139-47-2496

印刷 株 長 門 出版 社 印刷 部